

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 名古屋精密金型 熊本工場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		期首に全社員に向け方針説明会を実施し経営理念と経営目標を掲示し共有を図っている。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則を常時、全社員閲覧可能として、管理・徹底している。コンプライアンスに関する管理者社内研修を実施している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		取引先と毎年契約を交わし双方で公正な取引に努めている。下請法を遵守するよう管理職の教育を実施している。										10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		ISO運用に基づき、品質・環境・安全衛生上の組織を整備している。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		日本金型工業会の金型取引ガイドラインに基づき知的財産の保護を管理職をはじめ営業から設計まで周知徹底している。								8.2 8.3	9								16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報管理担当者を専任化し、パスワードでの保護管理の徹底及び管理担当者による教育・指導の徹底を行っている。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		顧客満足度調査を実施し満足度が高まるよう改善活動を図り顧客とのコミュニケーションを深めている。																16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		取引先のサステナビリティアセスメント調査に定期的に回答している。毎年1回実施される調査（労働環境・セキュリティ・安全衛生・環境・論理等）に回答している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		熊本地震の経験を踏まえBCPを策定し年1回の避難訓練等を実施している。								9		11		13.1					16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●										1	2		5		8		12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		入社時の教育および管理職の研修等で徹底している。高齢者・障害者・外国人を雇用した実績がある。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働安全衛生委員会を設置し環境整備を徹底している。メンタルヘルスを確保するために産業医の診断を定期的に実施している。		3						8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		各雇用形態に関わらず同一労働同一賃金ガイドラインに沿った体制を整え実行している。従業員（正社員・スタッフ・パート社員・外国人）の公正な待遇を行っている。				5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業時間の管理徹底や業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇・振替・代替休暇などの取得奨励を実施している。育児休暇も取得しやすい環境である。（育児休暇の実績有り）			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		外部講師による勉強会や研修体制を整備し各種資格の取得を奨励している。良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など適切なマネジメントを実施できる管理者研修を実施している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		日本金型工業健康保険組合のサポートを受けて従業員の健康づくりに取り組んでいる。心身ともに元気な会社「健康企業宣言」をしている。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		外国人従業員が働きやすい環境を作るために日本語検定の費用を補助することで従業員同士のコミュニケーションを促進している。母国帰国休暇を設けることで外国人が有給休暇を取得しやすい環境である。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		顧客とはオンライン会議・交渉・打ち合わせ等でWEBを活用。感染症に関する情報は熊本県のガイドラインに沿って対応し、常に新しい情報を全従業員に提供し共有している。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		CAD/CAMを用いた3次元金型設計に取り組むことで業務の効率化とバラツキのない安定した設計を実現している。			4					8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4				8	9		12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 名古屋精密金型 熊本工場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいます。	●		廃棄するダイカ粉等を指定業者へ委託しマニュフェストにより適切に処理するように管理している。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1	
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいます。	●		デマンド制御で可視化し電力消費を最小限に抑えるようにしている。照明機器のLED化を実施している。						7.3								13			
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいます。	●		「エコ安全ドライブ5ヵ条」を推進している。 社用車をハイブリッド車とし、排出ガスの抑制を行っている。 【予定】簡易計算シートを用いて温室効果ガス排出量を把握する。(2024年6月まで)	2.4					7.2 7.3 7.a							12.4	13	14	15	
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		工場からの排油が外部に漏れ環境に悪影響を及ぼさないように専門業者による回収・監視体制を取り周囲環境へ十分に配慮している。					6.6									14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リユース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいます。	●		可燃ごみ・廃プラ等の分別を行っている。専門業者に回収してもらい資源利用を図っている。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいます。	●		毎月の使用水量を把握し、使用頻度が少ない水道は止めて最小限の蛇口を使用し節水を実施している。	2.4	6.1 6.3 6.4 6.6							11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		バイオマスプラスチックを使用した金型製作に取り組んでいる。顧客のバイオプラスチックの研究に協力している。						9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいます。	●		工場敷地内に積極的に植栽し緑の創出と保全管理に取り組んでいます。										11.6 11.7		13.1 13.3		15			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいます。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13			17.17		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 名古屋精密金型 熊本工場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1 1 人権 2 安全 3 気候変動 4 経済成長 5 健康 6 経営 7 エネルギー 8 経済成長 9 経済成長 10 経済成長 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	2 2 安全 3 気候変動 4 経済成長 5 健康 6 経営 7 エネルギー 8 経済成長 9 経済成長 10 経済成長 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	3 3 気候変動 4 経済成長 5 健康 6 経営 7 エネルギー 8 経済成長 9 経済成長 10 経済成長 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	4 4 経済成長 5 健康 6 経営 7 エネルギー 8 経済成長 9 経済成長 10 経済成長 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	5 5 健康 6 経営 7 エネルギー 8 経済成長 9 経済成長 10 経済成長 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	6 6 経営 7 エネルギー 8 経済成長 9 経済成長 10 経済成長 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	7 7 エネルギー 8 経済成長 9 経済成長 10 経済成長 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	8 8 経済成長 9 経済成長 10 経済成長 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	9 9 経済成長 10 経済成長 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	10 10 経済成長 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	11 11 経済成長 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	12 12 経済成長 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	13 13 経済成長 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	14 14 経済成長 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	15 15 経済成長 16 経済成長 17 経済成長	16 16 経済成長 17 経済成長	17 17 経済成長		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		MPS活動による品質保証体制を構築し常に改善を図っている。			3.9							9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		段差を最小限とし手すりやスロープの設置を積極的に行っている。UDフォントを使用した印刷物の掲示を実施している。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4							7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●										7					12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		バイオマスプラスチックを使用する金型を開発している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		セミコンテクノパーク協議会に参加し、自治活動や交通指導等に積極的に参加し社会貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災・減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		非常用備蓄倉庫を作り災害時の用品を管理している。全従業員に対して社内専用の安否システムを導入している。社内BOPに則った定期的な災害訓練を行っている。				4								11.5		13.1			16		
	45	【防災・減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●										9			11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		近隣高校・専門学校・短大等に職場体験及び工場見学の実施を推奨している。			4					8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4				8.5 8.6											17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。